

The Genuine Communication Creator

La Neige

Semi Annual Report February - August 2013

ラ・ネージュは、同時代の茶室です。
そこには、様々な背景を持つ、
様々な国の、色々な地域の、
色々な年齢層の人達が集い、
時を忘れ、語り合います。

この時代に得難い、
リアルで密なコミュニケーションを
創造する場。
それがラ・ネージュ。

白い空間は、想像力をかきたて、創造を促し、
誤解や偏見を雪ぎ、互いの真価を認める手助けをします。

お互いを認め合うことから全てが始まる。



サロンで音楽と
遊ぶ #1
岩永善信 3/30
クラシックギター・コンサート



朗読劇場#1
馬場精子 4/27
朗読独演会



演奏・独演会

ラ・ネージュでのパフォーマンスは、
サロンならではのアットホームな
雰囲気と、近いからこそ緊張感を
存分に味わっていただけます。
パフォーマンス終了後のお茶をいただき
ながら、時にワイングラスを傾けながら、
また、お食事を共にしながらの
歓談のひとときも、ここならではの。
遠くに感じる人を、近くに感じつつ、
一期一会を心ゆくまでお楽しみ
ください。

場を創るのは、ここに集う
お一人お一人。演者のみで
なく、皆さんが主役です。

5/14, 8/23
ラ・ネージュ寄席
桂塩鯛独演会

お酒にらなんだ落語を一席
& お食事会
京都の噺を聴く会

日本の三味線色々@ラ・ネージュ#1
7/28
徳田恵美津軽三味線
コンサート

7/28



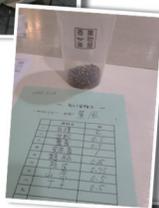


お能と遊ぶ 2/9
 #1 同明会能を数倍楽しむ
 #2 「班女・安達原」を中心に
 5/2



和の香りと遊ぶ
 #1にほひ袋づくり 5/19

と遊ぶ



石井流大鼓方
 石井保彦さん

観世流シテ方
 鷲尾世志子さん
 をお迎えして



香りと遊ぶ
 村田尚美先生をお迎えして

マイ・オー・デ・コロン
 第一部 6/1
 第二部 6/22

ラ・ネージュは、遊び場。
 素晴らしい先生方と共に、
 日頃、堅苦しく思われている
 ことから、楽しさを取り出し、
 敷居が高いと思われていること
 の敷居も、軽々と飛び越えます。
 「え？レクチャーだと思ってたら、
 実習も？」 「同じ基本レシピなのに
 一人一人違う香りが！」
 “出し惜しみをしない”先生方の
 姿勢から、そんな驚きの声。
 「書」や「歌」は好きなように
 様々に楽しんでいます。
 「習うのではなく、まず、
 慣れよう。」そんな
 時間です。

香司松下恵子先生
 をお迎えして。

7/21

#2 コーシンセンスづくり



五・七・五
 と遊ぶ
 5/16



書と遊ぶ
 遊ぶ

2/5

3/5

4/2

2/19

3/19

4/16



5/7

5/21

6/4

6/18

7/2

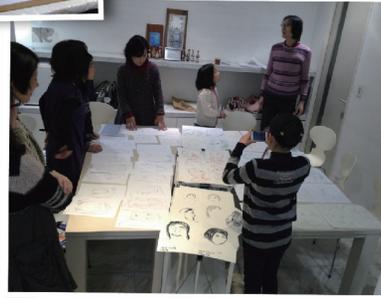
7/16



1分間で絵を描こう

画家・野村昌司さんをナビゲータにお迎えして、月1回のペースで第2土曜日の10時から12時までの時間帯にやって来ました。ここにありますように、2時間で大体20枚を超える作品を描き、途中皆さんの作品を見たり、色付けの時間を設け、最後に額にいれてみたりしながら楽しめます。

「1分」という時間の意外な長さを発見したり、人の作品を見て刺激を受けたり、「考えないこと」の意味、「みんな違ってみんないい。」を、体感できる2時間です。



土と親しむ陶芸教室

陶芸家・鈴木卓司先生をお招きして月1回・土曜日の11時～16時まで時間内遅刻早退中抜け可でゆるゆるとやっております。

「え？ここ、陶芸教室なのに、教えてくれへんの？」という声が出すように、「好き」なように「好き」なものを「好き」なだけ作れます。鈴木マジックによる焼き上がりもワクワクドキドキ。もちろん、教室なので聞けば判らないことは教えていただけます。

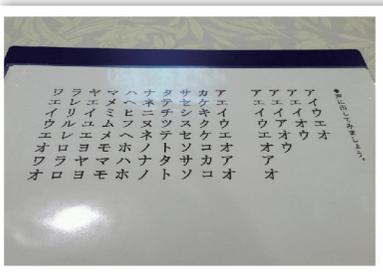


馬場精子朗読教室



朗読家・馬場精子さんにお越しいただき、
月2回、第1・第3月曜日の午後、1人1時間のプライベート
レッスンの形で、9月23日（月・祝）の発表会目指して進めて
来ました。
プライベートなので、レッスン風景の写真がなくて少し淋しい
ですが、このように素敵なお笑顔の馬場先生が、時には厳しく、
でも、的確に、朗読の奥深さを伝えるレッスンをして下さいます。

この10月からは、半年後の発表会を目標にすると、少しせわし
なかったかもという反省から、年1回秋の発表会という形にして、
これまでも増して、それぞれの方のニーズに応えつつ、
自己表現のツールの一つとして、もっと多くの皆様に“朗読”を
楽しんでいただきたい、と、先生共々意気込んでいます。



それぞれの方が、違う役を演じるドラマ・リーディングも楽しむ
ために、グループレッソンの形もとるかも？
男性も大募集しています。
もっと楽しく、もっとニーズに応えるために、決まったことに
とらわれず、どんどん進化していく。
そんな、朗読教室です。

ヴォイス・トレーニング

講師をお願いしている中野圭子さんをどう形容したらいいのか。
ヴォイス・トレーナー、ピアノ講師、ダンス教師、劇作家、演出家、俳優。どれもじっくり
来ないので、「優しい鬼才」ということにしておきましょう。



こちら月2回、第2、第4月曜日に行っていて、当初、
グループレッソンの形で進めて来たのですが、ニーズに
対応するうち、プライベート・レッスンの形となって
います。

写真は、許可を得て、プライベート・レッスンの様子を
撮影させていただいたもので、この方は「ヴォイス・
トレーニング」の内容で、よりよく声を出す為のレッス
ンをされていますが、例えば、別の時間帯には、発達障害を
お持ちのお子さんが、時にホワイトボードに絵を描きつつ
大好きな歌と、憧れだったピアノのレッスンをされています。



なので、「ヴォイス・トレーニング」というより「音楽を
より楽しむためのレッスン」という方が適切でしょうか。
優しい鬼才、中野先生は、目標に至るためのやり方は一つ
ではない、人によってその道は違うはず、という考えに立ち、
その人にあった道を模索して下さいます。
決まったやり方を押し付けられて音楽を嫌いになってしま
った経験はありませんか？
そんな方に、門を叩いてほしい。そんな教室です。

京都達歩団

昨年末、岡山、美作の上山集楽の西口さんと繋がりました。2月にumerryというイベントに行き「秋に棚田で千人達歩（タップ）を目指す」という英田上山達歩団の存在を知りました。イベントの片隅で踊る為、通信会員になりたいと言ったら、京都達歩団を任されました。新聞で団員を募集し、友人に呼びかけ10月20日の本番に向け、達歩団主催のAsakiさんのワークショップ、中野さんとの自主練で頑張っています。



6/6・7 7/5・6
work shops: 8/2・3



voluntary practices:



4/26~almost every Friday

旬の会

密かに調理師免許も持つパートナー橋爪正博が釣った時から食べる時のことを考えて処理した旬の魚をおいしくいただく会です。立春の朝に搾ったお酒と共にいただく紋甲烏賊づくしから始まり、鰯と鰹、鰯ウメイロ、イサキ編と、ほぼ月1開催しています。



貸しイベント 色々

カイロプラクティック講義

2013年8月10日
講師・横爪正博

様々なご縁で、様々なイベントの会場にならせていただきました。ここラ・ネージュは、1階と2階があるので、1階でレギュラーイベントがある時でも2階のみお貸しできること、そして、2階でメインのイベントをしていただき、1階をショップとして展開いただいたり、パーティー会場としてご利用いただけるのが最大の特長だと思います。場所としてのラ・ネージュの魅力を引き出してみてください。いつでもご相談に応じます。

マドモアゼル・愛さんの
528Hzチューナーセミナー・体験会



Vocal Unit
JOYさんの
なつの
ゴスペル×
カフェパーティー



CIC被災者支援デスクさんの
支援者の見た被災地の2年@京都展



編集後記



2013年9月 同時代の茶室ラ・ネージュ亭主 四方有紀

これが、今年1月の後半、バタバタと打ち合わせをし、2月の立春の頃「Get Set! Ready! Go!」と題して家内工業的に作ったA3四つ折りのパンフレットでお知らせしたこと達+αの実施報告及びこれからの展望、そしてちょっと宣伝です。

1993年に10月7日にスタートしたLa Neigeの20周年記念誌とも言えるかもしれません。

La Neigeをスタートさせる1年前、1992年に”Do you remember me?”Tourという、1977年に参加した国際キャンプで出会った人達を訪ねる旅をしました。方法はとてもシンプルで、そのキャンプに来ていた人全員に手紙を書き、返事が来た人のところを訪ねるといものでした。

手紙を送る前、一緒に参加した友達に、「連名で出さない？」と尋ねましたが、彼女は「そんなこと、できる（実現する）わけないやん。」と、乗って来なかったのも、自分一人の名前で出しました。その後続々と返事が返って来て、旅行代理店に勤める友達と一緒にほぼヨーロッパ一周とカナダ・メキシコを加えたフライトの詳細な旅程を持って再び彼女の許を訪ねたところ、「だったら行く！」ということになり、二人で旅をしました。今回も、計画をどんどん実行に移してみた今、「目に見える形にする」ことが必要かと、作ってみました。

La Neigeのシンボルは雪の結晶模様。六角形から六方に枝葉が伸びて、ハートの花が咲いています。20年前、ラ・ネージュを始める前、起点ラ・ネージュから、色々な方面に人の繋がりができ、その先に笑顔の花が咲けばいいなあ・・それで世界が平和になればいいなあ・・・という思いを持って選びました。少しでも、その時の思いがカタチになっているでしょうか。

数年間密に関わったPTAで私を知る人、そしてその後法科大学院に通ったことがあることを知る人からは「一体急にどうしたの？」だったかもしれませんが、こういうことでした。

偶然に見える必然の一期一会の場に毎日立ち会わせていただいて、日々感動をいただいています。皆様も、是非お運びいただき、なにかを感じてもらえれば嬉しく思います。

These photos express a part of the process how La Neige restarted in 2013.



La Neige

同時代の茶室 ラ・ネージュ

〒612-8036

京都市伏見区桃山町立売58

TEL/FAX: 075-622-5770

mobile/SMS: 090-8141-6350

e-mail: info@yuki-laneige.com

<http://www.yuki-laneige.com>

FBページ

<https://www.facebook.com/laneigeyuki>

ブログ: La Neige

<http://ameblo.jp/yukilaneige1993/>